そら
soralium
粉芽の生じる場所
第 28 号
クリスマス号
発行
南花台キリスト教会

2020 年(令和 2 年)11 月 発行

Christmas
クリスマス

クリスマス： イエスキリストの「キリスト」+「マス」
キリスト： 救い主
イエス： 名前
マス： ラテン語の「礼拝」

クリスマスの言葉の意味とは
「キリスト救い主を礼拝する」
ということです。

聖書に次のような記述があります。

イエス・キリストの誕生は次のようであった。その母マリヤはヨセフの妻と決まっていたが、
ふたりがまだいっしょにならないうちに、聖霊によって身重になったことがわかった。
夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者にはしたくなかったので、内密に去らせようと決めた。彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現れて言った。
「ダビデの子ヨセフ。恐れないであなたの妻マリヤを迎えなさい。
その胎に宿っているものは聖霊によるのです。マリヤは男の子を産みます。
その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」
このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。
「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」
（訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。）
ヨセフは眠りからさめ、主の使いに命じられたとおりにして、その妻を迎え入れ、
そして、子どもが生まれるまで彼女を知ることがなく、
その子どもの名をイエスとつけた。

新約聖書 マタイによる福音書 1章18～25節

イエスキリストの預言の成就に関する数学的確率

旧約聖書のキリストがこの世界に来られる事に関する300以上の預言について、数学者で天文学者ある「化学は語る」の著者ピーター・W・ストナー教授は、
“イエスキリストの来られることの300に及ぶ預言の一握りでも一個人に成就することは、統計上至難の業”と語りました。

幸福な王子

オスカー ワイルド 作
1888年刊行 イギリスの子供向け短編小説

むかしむかし、ある町に、美しい幸せの王子の像がありました。その幸せの王子の体には、金色に光かがやく金ぱくが貼ってあります。青い瞳はサファイアで、腰の剣には大きいルビーがついています。

　町の人たちはこのすばらしい王子のように幸せになりたいと願いました。冬が近づいてきた、ある寒い夕方の事です。町に、一羽のツバメが飛んで来ました。

「ずいぶんと、遅れちゃったな。みんなはもう、エジプトに着いたのかなあ？今日はここで休んで、明日旅に出よう。」

ツバメは幸せの王子の足元にとまり、そこで眠ろうとしました。するとポツポツと、しずくが落ちてきました。

「あれれ、雨かな？　雲もないのに、変だな。あっ、王子さまが泣いている。もしもし、どうしたのですか？」ツバメがたずねると、王子が答えました。

「こうして高い所にいると、町中の悲しい出来事が目に入ってくるんだ。でもぼくには、どうする事も出来ない。だから泣いているんだよ。」

「悲しい出来事？」

「ほら、あそこに小さな家があるだろう。子どもが病気で、オレンジが食べたいと泣いている。お母さんは一生けんめい働いているが貧しくて買えないんだ」

「それは、お気の毒に」

「ツバメくん、お願いだ。ぼくの剣のルビーを、あそこへ運んでおくれよ」

「うん。わかった」

ツバメは王子の腰の剣のルビーをはずして、熱で苦しんでいる男の子のまくらもとにルビーを置きました。

「つらいだろうけど、がんばってね」

ツバメはつばさで、男の子をそっとあおいで帰ってきました。

王子のところへ帰ってきたツバメは、ある事に気づきました。

「不思議だな。こんなに寒いのに、なんだか体がポカポカするよ」

次の日、王子はまたツバメに頼みました。

「ぼくの目のサファイアを一つ、才能のある貧しい若者に運んでやってくれないか？」

「でもぼく、そろそろ出発しなくちゃ」

「お願いだ。きょう一日だけだよ。ねえ、ツバメくん」「…うん」

ツバメがサファイアを運んでやると、若者は目を輝かせて喜びました。

「これでパンが買える！作品も、書きあげられるぞ！」

次の日、ツバメは今日こそ、旅に出る決心をしました。そして王子に、お別れを言いました。

「王子さま。これからぼくは、仲間のいるエジプトに行きます。エジプトはとてもあたたかくて、お日さまがいっぱいなんです」

けれど王子は、また頼みました。

「どうか、もう一晩だけいておくれ。あそこで、マッチ売りの女の子が泣いているんだ。お金をかせがないとお父さんにぶたれるのに、マッチを全部落としてしまったんだ。だから残ったサファイアを、女の子にあげてほしいんだ」

「それでは、王子さまの目が見えなくなってしまいますよ」

「いいんだ。あの子が幸せになれるのなら、目が見えなくとも」

「王子さま・・・」

人の幸せのために自分の目をなくした王子を見て、ツバメは決心しました。

「王子さま、ぼくはもう旅に出ません。ずっと、おそばにいます。そして、王子さまの目の代わりをします」

「ツバメくん。ありがとう」

それからツバメは町中を飛び回り、貧しい人たちの暮らしを見ては王子に話して聞かせました。

「それでは、ぼくの体についている金を全部はがして、貧しい人たちに分けてくれないか」

「わかりました」

ツバメは言いつけ通り王子の体から金ぱくをはがすと、貧しい人たちに届けてやりました。

やがて、空から雪がまい落ちてきました。とうとう、冬がきたのです。寒さに弱いツバメは、こごえて動けなくなりました。

「ぼくは、もうだめです。王子さま、さようなら。良い事をして、ぼくは幸せでした」

ツバメは最後の力で王子にキスをすると、そのまま力つきて死んでしまいました。

パチン！

その時、王子の心臓が悲しみにたえかねて、はじけてしまいました。

次の朝、町の人たちは幸せの王子の像が、すっかり汚くなっているのに気づきました。

「美しくない王子なんか、とかしてしまおう」

ところが不思議な事に、王子の心臓だけはどんなにしてもとけませんでした。

そこで王子の心臓は、そばで死んでいたツバメと一緒にすてられました。

そのころ、神さまと天使がこの町へやってきました。

「天使よ。この町で一番美しいものを持っておいで」神さまに言いつけられて天使が持ってきたのは、王子の心臓とツバメでした。それを見て、神さまはうなずきました。

「よくやった。これこそが、この町で一番美しい物だ。王子とツバメは、大変良い事をした。この二人は、天国に連れて帰ってやろう」

こうして人々を助けるために死んだ王子とツバメは、天国で幸せに暮したのです。

小説では
語れない
真実の神の愛を
お伝えします

クリスマス特別礼拝

12/20 日 午前 10:30～

南花台キリスト教会
2F 礼拝堂にて

今年度は「祝会」ではなく日曜日の特別礼拝にて開催致します。
飲食の提供はございません。感染対策を行いながら開催致します。

ラムネン猫の森映画祭 大渕 美喜雄 絵本原画展

同時開催 絵画教室 展示会

いずれの日程も入場無料

11月 27日(金) 11：00 ～ 16：00 **28日(土)** 10：00 ～ 15：00
10:00～12:00 絵画教室

南花台キリスト教会

楽しい 絵画教室

絵画教室 開催予定日　2020年 11月28日(土)
2021年　1月23日(土)・2月27日(土)・3月27日(土)

お子様から大人の方までご参加いただけます

参加費 1,000円

日常から離れてゆったりとした時間を過ごしてみませんか。
楽しみながら絵を創る喜びをあなたに。絵に自信がない人でも大丈夫！
魅力ある作品づくりを個人レベルにあわせて指導いたします。

講師 大渕 美喜雄（おおぶち みきお）（画家・絵本作家）

お申込み・お問合せ
090-8529-8037（担当さかい・非通知不可）

水彩画、アクリル画、油絵、パステル、色鉛筆、クレヨン、クレパス、その他好きな画材を選べます。

南花台キリスト教会

NANKADAI CHRIST CHURCH

河内長野市南花台４丁目 15-1
【公式サイト】 http://105919.com
【Eメール】 info@105919.com

お車でお越しの方：
教会前の駐車場をご利用下さい
満車の場合係の者がご案内いたします

電車でお越しの方：
南海高野線「三日市駅」下車
以下のバスにて約 15 分

バスでお越しの方：
南花台３丁目南 又は
南花台4丁目下車すぐ

定例集会案内

主日礼拝／こども礼拝	毎週日曜	am10:45～
日曜学校	毎週日曜	pm 2:00～
中高生クラス	毎週日曜	pm 2:00～